

# 日本史 前期期末~

## モンゴル襲来

( ) (チングスの孫)、( ) を通じて日本に朝貢を要求  
⇒ 8代執権( ) (時頼の子)、要求を拒否

1274年( )

1281年( )

⇒( ) を強化 (九州の御家人)

## モンゴル襲来後の政治

( ) に( ) を設置

そうした中... 北条氏の嫡流の当主( ) の権力を強化

⇒ 御家人や北条氏一門が幕政を主導する、( ) が成立 (9代執権( ) から)

## 社会の変動

農業 ... ( ) と( ) が普及

手工業・商業 ... ( ) の結成、( ) の出現、( ) の誕生・発達

貨幣流通 ... ( ) の流入、( ) の使用、( ) の出現

## 幕府の衰退

1297年( ) (幕府が御家人の窮乏化に対応)

( ) の台頭 (年貢納入拒否など、荘園領主に抵抗する武士)

## 鎌倉幕府の滅亡と建武の新政

後嵯峨法皇の死後、皇統が2つに分裂

→( ) : 後深草 (後の北朝)

→ ( ): 亀山 (後の南朝)

⇒ 幕府が調停し、( ) に (両統が交代で皇位につく)

このような中、( ) (皇統) の ( ) (天皇) が即位

2度倒幕を図るが失敗し、( ) に流される

しかし、( )、( ) (後の尊氏)、( ) らが蜂起・活躍

⇒ 1333年 ( ) 滅亡

( ) (1333~1336 後醍醐天皇)

→ 天皇へ権限集中 = 摂関・院政・幕府を否定

( ) が反旗を翻す

⇒ 1336年 京都を制圧し、( ) (天皇) 擁立 → ( ) (持明院統の朝廷)

⇒ 後醍醐天皇は、神器を奉じて吉野へ → ( ) (大覚寺統の朝廷)

## 南北朝の動乱

3代将軍 ( ) の ( ) (1392年) まで続いた

### 武家社会の変化

・ 土地相続が ( ) から ( ) (嫡子が全て相続) へ

・ ( ) (一族) から ( ) (近隣) へ

⇒ 武士団内の分裂・対立により、動乱が長期化・全国化

## 守護大名と国人一揆

### 守護の土地支配の強化

・ ( )

守護に、荘園・公領からの年貢の半分を ( ) として徴収する権限を付与

⇒ やがて年貢だけでなく土地も分割

・ ( )

荘園・公領の領主から年貢徴収を請け負う

これらにより、一国全体の地域支配権を確立

⇒ 守護 → ( ) へ

任国 → ( ) 化

一方、国内では自立した ( ) が各地を支配

・ 守護大名と主従関係を結ぶ

・ 国人同士で ( ) を結んで守護大名に対抗

# 室町幕府

## 中央組織

① ( )

将軍を補佐

足利氏一門の ( ) ・ ( ) ・ ( ) 氏が就任

⇒ ( )

② ( )

京都内外の警備・刑事裁判

長官には、( )、( )、( )、( ) 氏が就任

⇒ ( )

## 地方機関

・ ( )

関東八カ国と伊豆・甲斐を統括

尊氏の子、( ) が初代の鎌倉公方（長官）

⇒ 子孫が世襲

鎌倉公方を補佐する ( ) は、( ) 氏が世襲

## 幕府の軍事力

・ ( )

## 幕府の財源

・ ( )、( )、( )、( )

## 幕府の交易

・ ( ) (朝貢貿易、勘合貿易)

1368年 明建国

貿易は幕府のみ → 応仁の乱後、細川、大内氏へ

・ ( )

1392年 朝鮮建国（李朝）

( ) 倭寇撃退に活躍（漢字注意!! × 季 ◎ 李）

明、朝鮮ともに ( ) が国交を開いた

# 琉球王国の成立

1429年 ( ) の ( ) 氏が三山（山北・中山・山南）を統一して建国  
( ) に王府を置き、外港の ( ) を拠点に中継貿易で繁栄  
明・日本と国交があった

## 幕府の衰退と庶民の台頭

- ・ ( ) (惣)  
  荘園や公領の内部にできた自治的な村  
  ⇒ 鎌倉後期に近畿で発生し、南北朝後期に各地に拡大
- ・ ( )  
  農民、一部の都市民、困窮した武士  
  ⇒ 借金の帳消しや債務の破棄を意味する ( ) を要求 → ( ) （正長・嘉吉）
- ・ ( ) （1467～1447）  
  原因
  - ・ 8代将軍 ( ) の後継者争い
  - ・ 畠山・斯波氏の家督争い
  - ・ 有力守護の ( ) と ( ) の対立  ⇒ 細川方 ( ) と、山名方 ( ) に分かれて戦い  
  
  結果
  - ① 有力守護が在京して幕政に参加する体制が崩壊する  
    ⇒ 幕府権威の失墜
  - ② 守護代や国人の勢力拡大、守護大名の衰退  
    ⇒ 下剋上の風潮が強まる → ( ) の台頭へ
  - ③ 荘園制の解体が進む
- 国一揆
  - ・ 争乱から地域の秩序を維持するため、国人ら武士と地域住民が組織して ( ) に対抗する（山城・加賀）

農業 … ( ) の開始、( ) の使用

商工業 … ( ) の増加、( ) の一般化

貨幣流通 … ( ) の風潮  
  ⇒ 幕府や大名による ( )

# 戦国大名の登場

## 家臣団の支配体制

- ・ ( )  
家臣に組み込んだ国人・地侍の収入額を錢に換算した ( ) で把握し、収入に見合った軍役を負担させる

## 分国の統制

- ・ ( )  
戦国大名が領国統治のために定めた法令  
⇒ 幕府法・守護法を継承したもの、国人一揆の規約を吸収したもの、家訓・家法など

## 都市の発達

- ・ ( )  
主に ( ) (一向宗) の寺院や道場を中心に門徒が建設
- ・ ( )  
市場で販売座席 (市座) や市場税を設けず自由な取引をみとめること

## 都市の自治

- ・ ( )  
日明貿易の拠点で繁栄 (細川)  
⇒ 36人の ( ) による自治
- ・ ( )  
日明貿易の拠点で繁栄 (大内)  
⇒ 12人の ( ) による自治

---

# 近世（江戸時代）の原理

## 織豊政権（1573～1603）

### 大航海時代

- ① ( ) … ( ) (フィリピン) を拠点にアジア進出
- ② ( ) … ( ) (インド)、( ) (中国) を拠点にアジア進出  
⇒ 明が ( ) をとっていたため、( ) に参入

## 1. 南蛮貿易

- ・輸入品・・・中国産( )、( )、( )
- ・輸出品・・・( )

※ 1543年ポルトガル人を乗せた中国船が種子島に漂着し、鉄砲伝来

## 2. キリスト教

- ・( )の来日・・・1549年、( )会の宣教師として( )に上陸
- ・1582年、キリシタン大名たちによる( )の派遣

# 豊臣政権の土地・身分政策

## 1. 太閤検地・・・1582年以降、征服地に検地奉行を派遣して測量を実施

- ・( )・・・一段あたりの収穫量の基準 → 土地の生産力を米の量で計測

石盛 × 面積（段数）＝ 石高

- ・( )とは、
  - ① 田畑・屋敷地の生産高や年貢高を米の収穫高で表す制度
  - ② 戦国時代の銭に換算する貫高制から転換

## 2. 刀狩り令

- ・目的・・・農民から武器を没収して武士と農民の身分を確定 → ( )
- ・名目・・・京都方広寺の大仏建立のため

# 対外政策と侵略戦争

- ・( )（1587年＝九州平定）
  - ・理由・・・( )が長崎の地をイエズス会に寄進した事実が発覚
  - ・結果・・・貿易そのものを禁じなかったため、不徹底に終わる
- ・侵略戦争・・・朝鮮の入貢と明への出兵の先導を要求 → 朝鮮は拒否
  - ① ( )（1592年）  
肥前の( )（漢字注意）を拠点に15万の軍勢が出兵 → 李舜臣の水軍、朝鮮義兵、明の援軍により撤退
  - ② ( )（1597年）  
14万の軍勢が出兵 → 秀吉の死によって撤退